

2022/1/29-3

(オマケの英語教室 amateur 後編) 書庫版



まず株や金融商品の運用。

「投信ファンドでプロに運用をお任せ。貴方は寝て待つだけ」
という謳い文句。

一見、実しやかですが株や金融商品売買のプロ、例えばファンドマネージャーには逆に「四半期毎の決算」という絶対的納期期限の縛りがあります。

そこまでに何が何でも顧客から依頼された必達の数字を上げなくてはなりません。その為長期的に見れば持っていた方がいいアイテムをやむなく売り払ったり、同じく長期的に見れば最後はゴミ屑だと分かっている様なものを抱えていたりしなくてはならない場合が出てきます。

昨今の不確実性の時代を見れば現物資産であり無国籍通貨である「金 (gold)」を持っていた方が安全なのだが、金利引き上げとなれば金利を生まない金よりは現時点金 (money) が稼げる米国債にシフトした方がいいといった様な例です。

無形資産であるアバターやアイコン等現時点では持て囃されてはいるが明らかにバブルでしかないと思う物を買ったりしなくてはならない場合もあります。

或いは非常にシンプルに株の利益確定売りで、いったん手放したりします。

しかし、素人にはプロにとっての絶対命題である「決算期限」がありませんから、ドルコスト平均法に従って毎月一定額の株を買ひ続け、それを売らずに長期保有していれば十中八九 15%位の利益は得られるのです。

簡単に言うと証券会社を通さずに、つまり余計な売買手数料をかけずに証券会社のセリフそのままに「寝て待つていればよろしい」訳です。

次に経営の素人のお話。

よく経済新聞などで「経営のプロの目」などという記事が載っていたりします。

しかし「プロ」という名がつくと、おいそれと下手な事は言えなくなりますし、下手な事もできなくなります。注目度や影響度が格段に上がってしまうからです。

結果、がんじがらめになって「ありきたりの事しか言えなくなる」場合が多々ありそうでした。

その点、自分の様な素人経営者は誰からも注目されておられませんし、思い切った事をやっても「めくら、蛇におじず」か、失敗しても「バッカだねえ。あれほど言ったのに」位で済んでしまうので少なくともかなり気が楽です。

そして最後の例

素人の物書きです。

友達にプロの物書きの方がおりますが想像するだけでも大変だと思います。

ファンマネと同じく納期期限の制約。

編集者への配慮。

そして読者満足の重圧。

ところが素人物書きである自分は、書きたい時に書いて誰からの支持をそれ程気にする事なく書きたい事が書ける。

で、間違っていたら書き直してアップロードし直すか「ごめんちゃい」で済んでしまう。

その代わり無収入ではありますが注目されない分、逆に無加圧なので持ち駒が増えますし。

If you want to enjoy what you want to do, it might be better to take it as a amateur rather than as a professional consciously, even if you can't get enough money.

(したいことをしたければ、例え多少貧乏しても敢えてプロにはならない方がいいかもしれない)

是が今の自分の偽らざる感想です。